

ホームページ <http://sawashima.com/>

渋谷区議会議員 沢島ひでたか

第3回定例会号

渋谷区議会区政報告

# 沢島

## ひでたか通信 Vol.43



### 渋谷区議会公明党の要望で朝の預かり保育が来年4月1日からスタート！

**子宮体がん健診の実施が大きく前進！  
加齢性難聴者への支援を提案！**

#### 第3回定例会・区議会公明党の代表質問より

令和7年9月18日（趣意）

## 福祉

#### 高齢者住まい支援について

##### 質問

わが会派では、令和元年9月の定例会より、入居者自身の安心とともに、家主や管理事業者が単身高齢者などに安心して住宅を貸すことができる制度の創設を提案し、継続して要望を行ってまいりました。

本区においては、見守りサービス「見守ってるプラス」の推進により、入居者やご家族にとって心強い仕組みとなっていることを高く評価しております。

さらに住宅政策課においては、一人で不動産店へ相談することが難しい方に、状況や住み替え先の希望を伺ったうえで、全協力店に一斉照会を行い、物件紹介を実施していただいております。

しかしながら、ポータルサイトに示される「渋谷区高齢者等民間賃貸住宅入居支援事業」の協会会員名簿を確認すると、37件にとどまっており、協力事業者の拡充が必要ではないかと考えます。

また、高齢者の方々がこの窓口

サービスを確実に利用できるよう、地域包括支援センターや出張所などを通じたチラシ配布等、手元に届きやすい形での周知も重要と考えます。

##### 答弁（区長）議員ご指摘のとおり協力会員の拡充が必要と考慮しており、今年度は、新たに他の不動産団体に対し、協力会員を求め名簿への追加を依頼しています。

また、より分かりやすいチラシの作成や高齢者の方々の手元に届きやすい周知方法について検討します。



#### 加齢性難聴者への支援について

##### 質問

わが会派がこれまで要望してまいりました補聴器の助成・拡充を実施いただき、大変感謝しております。

しかし一方で、実際の生活においては、補聴器を外して

過ごされる時間も少なくなുക、来客や宅配便の訪問に気づけず、不安を感じるという声が寄せられております。

そこで、光で知らせるインターホンライトを加齢性難聴者支援の一つとして、対象用具への追加を検討していただきたいと考えます。

答弁（区長）議員ご提案のインターホンライトの対象用具への追加については、アンケート調査などを通じ、実生活での課題や具体的なニーズの把握を進め必要に対応を検討してまいります。



#### 日常生活支援用具の拡充について

##### 質問

高齢者ができる限り自立して日常生活を送れるようにするために、まだ介護認定には至らないものの、足が少し不安定な高齢者にも歩行を支援するシルバーカーや、入浴の際のシャワーチェアなどを日常生活支援用具の助成対象に入れていただくのはいかがでしょうか。

答弁（区長）議員ご提案のシルバーカーやシャワーチェアの介護認定前の使用に対する助成については、第10期渋谷区高齢者保健福祉計画策定に向けたアンケート調査などを通じて、具体的

なニーズを把握・分析し、必要に応じて検討を進めてまいります。



## 防災

#### 災害時の給水計画について

##### 質問

災害時の具体的な給水体制および区民に対しての飲料水の確保状況、給水車等での地域や避難所への飲料水供給の区の具体的な計画をお伺いします。

答弁（区長）上下水道については、都が配管の耐震化を進めており、本区の避難所全てにおいて整備が完了しています。そのため、区内で断水が発生した場合でも多くの避難所では通水がされるため給水が可能となります。

また、避難所には3日分の飲料水の備蓄を行っており、以降は、都によるプッシュ型の飲料水提供がされる計画となっており、在宅避難をしている区民にも飲料水の提供を行うこととなります。

加えて、区内に3カ所の「災害時給水ステーション」を設置し、区民の方が直接現地に取りに来ていただくことで、飲料水が提供がされる計画となっており、在宅避難をしている区民にも飲料水の提供を行うこととなります。

## 小規模社会福祉施設の訓練について

**質問** 一定規模以上の施設では、防災訓練が行われていますが、小規模施設においても、訓練が重要であると考えます。

しかし、実施するには費用がかかり、小規模施設にとっては大きな負担となります。

小規模福祉施設が訓練を導入できるよう、助成や支援を検討してはいかがでしょうか。

**答弁**（区長 議員ご提案の訓練は、小規模社会福祉施設の状況や要望に応じた対応が可能であり、災害時に配慮を要する利用者の命と安全を守るうえで、効果の高い取り組みだと考えます。

訓練を実施している施設もあると聞いているので、効果や課題を丁寧に向いながら、都の助成制度の活用も含めた支援の方向性を検討してまいります。

## 健康

### 子宮体がん健診について

**質問** 50歳を超えると子宮体がんの罹患リスクが高まることが知られております。

子宮頸がん検診の結果や問診内容を踏まえ、医師が必要と判断した方に対して子宮体がん検診につなげていく制度を導入し、その際の費用助成についても検討いただけないでしょうか。

**答弁**（区長 議員ご指摘の通り、子宮体がんの早期発見は重要です。

子宮頸がん検診実施時に、必要な方について、がん検診の指針に基づき、保険診療の中で多様な検査が適切に行われるよう協力医療機関に働きかけてまいります。



## 教育

### シブヤ未来科について

**質問** 現代社会においては、SNSの使い方や「闇バイト」といった社会課題、また公園や図書館の利用ルールなど、子どもたちの身近な生活に関わる法的な課題が増えています。

こうしたテーマを学ぶことは、生徒が自ら考え、主体的に行動する力を養ううえで大変重要です。

すでに他自治体でも行政書士などの協力を得て、法教育を取り入れている事例が見られます。

渋谷区でも行政書士など専門家のサポートを受けながら、法教育やキャリア教育授業を導入してはいかがでしょうか。

**答弁**（教育長 法律の専門家と連携した授業は、法的なものの方方や考え方を身に付けることができるのと同時に、より実社会に根差

した学びになり、探究の質を高めることになると考えています。

今後、関係団体との連携を深め、教育現場での活用を推進してまいります。



### 朝の預かり保育の進捗について

**質問** 昨年第4回定例会において、地域の保護者の皆さん、特にお母さん方からの強い要望を受けて、わが会派は地域人材を活用した「学校での朝預かり」について質問をいたしました。

放課後クラブを利用している保護者を対象にアンケート調査等を行い、ニーズの把握を進めるとのことでしたが、現在の調査状況、検討状況をお伺いします。

**答弁**（教育長 令和8年4月1日から全校で朝の預かり事業を実施する方向で検討しています。

本年7月に放課後クラブ利用者や、区立保育園の保護者にアンケートを実施し、保護者の方々のニーズを確認しました。利用希望時間は、朝7時30分からの希望が多く、教育委員会でもそれを前提に制度設計を進めています。

今後も、詳細な条件などの整理を進め、4月からの確実な実施に向けて準備を進めてまいります。



### 安心の教育現場について

**質問** 昨今、教育現場における教員の不適切な行為が社会的に大きく取り上げられております。

こうした一部の事例によって、子どもたちの健やかな成長のために尽力されている多くの教員への信頼が損なわれることがあってはならないと考えます。

児童生徒の安心を確保するとともに、教員自身も安心して職務に専念し、働き続けられる環境を整えるため、どのような取り組みを進めていますか。

**答弁**（教育長 区立小中学校では、文部科学省の通知に基づき、教職員研修の強化や服務規律の徹底を図っています。

具体的には、密室状態の回避、教室やトイレなどの定期及び不定期の点検、SNSなどによる私的接触の禁止、個人のスマートフォンなどでの撮影禁止などの未然防止策を講じています。

渋谷区政へのご意見、ご要望など、なんでもお気軽にご相談ください!!

さわしま 英 隆  
渋谷区議会議員 沢島 ひでたか

〒150-8010 渋谷区渋谷区宇田川町1-1  
渋谷区役所内渋谷区議会公明党控室

TEL. 03-3463-1036  
FAX. 03-5458-4962

